

# ポジティブリスト制度に係わる生乳の「管理対象物質 の定期的検査」の実施結果について

平成21年3月  
社団法人日本酪農乳業協会

酪農乳業界では、食品中に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度に対応し、定期的な残留検査を実施することとしています。本年度は平成21年1月から3月にかけて、下記の条件で定めた都府県19物質、北海道9物質について、検査を実施しました。

## 1. 管理対象物質の設定

今般の管理対象物質の設定に当たっては、(社)中央酪農会議が実施した農薬等の使用実態調査において、使用実績頻度の高いことが判明した農薬等のうち、簡易迅速法で検出可能な抗菌性物質(ラクタム系抗生物質)及び現状では乳において検査手法が確立されていない物質を除いた別表の都府県19物質、北海道9物質を重点管理対象として「20年度管理対象物質」としました。その内訳は以下の通りです。

自給飼料生産に適用のある農薬...都府県6物質 北海道5物質

わが国で流通(生産)している牛用の動物用医薬品...都府県4物質 北海道2物質

牛舎消毒薬、洗剤・殺菌剤...都府県9物質 北海道2物質

## 2. 検体数

全国の指定生乳生産者団体(沖縄を除く)の生産乳量等に応じて設定した計82検体で延べ264物質を検査しました。

指定生乳生産者団体：酪農家が生産した生乳を集荷し乳業会社へ販売する農協組織です。

## 3. 検査結果

検査結果は別表のとおりで、すべて「検出せず」でした。

検査物質等詳細については、別表「平成20年度生乳の管理対象物質定期的検査の結果について」をご覧ください。

(別表)

平成20年度生乳の管理対象物質定期的検査の結果について

平成21年3月  
(社)日本酪農乳業協会

No.	物質	対象地域		検体数	基準値 ppm	分析法	検査結果
		都府県	北海道				
1	アトラジン			16	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
2	アラクロール		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
3	メトラクロール			16	0.03	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
4	ニコスルフロン		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
5	チフェンスルフロンメチル		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
6	ペンディメタリン			16	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
7	グリホサート	-		4	0.1	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
8	ジクロベニル	-		4	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
9	ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン			16	0.2	微生物定量法	検出せず
10	カナマイシン			16	0.4	微生物定量法	検出せず
11	オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン		-	12	0.1	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
12	デキサメタゾン		-	12	0.02	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
13	ペルメトリン		-	12	0.1	ガスクロマトグラフ法	検出せず
14	塩化ジデシルジメチルアンモニウム		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
15	エトフェンプロックス		-	12	0.01	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
16	イソプロチオラン		-	12	0.02	ガスクロマトグラフ-質量分析法	検出せず
17	フェニトロチオン		-	12	0.002	ガスクロマトグラフ法	検出せず
18	シロマジン			16	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
19	シフルトリン		-	12	0.04	ガスクロマトグラフ分析法	検出せず
20	ピリプロキシフェン		-	12	0.01	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
21	イベルメクチン		-	12	0.01	高速液体クロマトグラフ法	検出せず
22	カルバリル	-		4	0.05	液体クロマトグラフ-質量分析法	検出せず
計	22物質	19物質	9物質	264			

注) 検査機関:(財)日本食品分析センター